

「課題研究」簡易ルーブリック評価(課題発表評価)

この評価基準は、課題研究を行ったあとのポスター発表・プレゼンテーション・論文などの成果発表の評価を行うためのものです。
この評価基準に該当しない評価観点については、評価をしなくても構いません。

領域	評価観点	評価尺度			コメント
		5(S)~4(A)	3(B)	2(C)~1(D)	
		求めているレベルを越えて達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。	
発表 (ポスター発表・プレゼンテーション・論文)	目的と仮説	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が述べられている。	研究目的や仮説が述べられていない。	
	方法	研究目的に沿った研究方法が文献等を参考にしながら述べられている。	研究目的におおむね沿った研究方法が述べられている。	研究目的を達成する研究方法として不適切、または、十分とは言えない。	
	分析と結果	豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。また、図、表、グラフ等が分かりやすく作成・配置されている。	資料、データ、図や表、グラフ等がおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足している、または、図、表、グラフ等が適切に作成されていない。	
	考察	研究結果を踏まえた考察が述べられており、今後の研究の展望も示されている。	研究結果を踏まえた考察が述べられている。	考察が述べられていないか、考察として不適切である。	
	表示方法と文体	統一された表示と文体で必要な専門的用語が用いられている。また、文章構成は論理的である。	表示と文体の統一感があり、文章構成もおおむね論理的である。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成が論理的でない。	
	発表の内容	明快な論理に基づいて構成されており、読み手／聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、読み手／聞き手が理解しやすい表現となっている。	内容構成が分かりにくく、読み手／聞き手は内容を理解できない。	
	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度は適切であり、分かりやすい。	原稿を見ることもあるが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度についてはおおむね適切である。	終始原稿を見ながら発表し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切ではない。	
	質疑応答	質問者の質問に対して、研究した内容に基づいた適切な応答ができています。	質問内容を把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できないまま応答しているため、質問と答えとが対応していない。	
チェック項目	(論文)文字数等	<input type="checkbox"/> 指定文字数等が守られているか。			
	(ポスター発表)紙面の活用	<input type="checkbox"/> 紙面を最大限に活用しているか。			
	参考文献	<input type="checkbox"/> 参考文献が正しく表記されているか。			
	提出期限	<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っているか。			
	提出物	<input type="checkbox"/> 提出すべきものが全て揃っているか。			